

# 令和5年度授業改善プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だて)の授業に関して作成する。
  - ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
  - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
  - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名(保健体育科) 教科主任名 小池 直樹

★教科・観点について  
 学力向上のための調査・期末テストび学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。<○成果 ▲課題>

観点	前半～9月			後半～1月		次年度に向けて	
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析(授業改善・プランの1次評価)	1次評価後の具体的な改善策	まとめ
知識・技能	1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲各種の運動の特性に応じた技能等について理解できている。</li> <li>○個人生活における健康・安全について理解できている。</li> <li>▲基本的な技能を身に付けている。</li> </ul>	基本的な動きがけがの防止につながっていくことと関連付けて指導する。 運動の楽しさや喜びを継続して味わえるような領域内計画を立てる。 体力テストを実施し、関連付けて指導する。	1年			
	2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○技能ポイントを絞り伝え、知識をパフォーマンスにつなげられることができた。</li> <li>▲一方で運動が苦手な生徒に関しては、知識と技能が結びつかない生徒もいた。</li> </ul>	毎時間の始めに、言葉だけではなくイラストや実演でイメージを付けさせる。運動が苦手な生徒も多いため、楽しさを与えられるような動き、練習方法を考える	2年			
	3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教えられた知識に対して理解し、実践できている生徒が多かった。また、自分自身の体の動きを理解し技能を高めようとしていた。</li> <li>▲各単元の時間数が少なく、練習の成果が得られる生徒が少なかった。</li> </ul>	各単元時間を増やし、課題に取り組み成果を得る機会を増やしていく。また、成果が出ることによる学習意欲も高めていく。	3年			
思考・判断・表現	1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動や健康についての自他の課題を発見している。</li> <li>▲合理的な解決に向けて思考し判断している。</li> <li>○他者に伝えている。</li> </ul>	基本技能の向上のための練習時間を確保する。 練習の方法を提示して、技能向上に向けて必要な練習ができるようにする。	1年			
	2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習カードで自分のパフォーマンスに対しての気づきを書かせている。学んだ事をいかした練習方法など工夫して取り組むことができた。</li> <li>▲技能レベルが高い生徒ほど、感覚でプレーをする傾向にある。</li> </ul>	一つの技能を習得する時に、自分の感覚で微調整をする必要がある。その微調整の気づきを例に出し伝えていく。	2年			
	3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習カードを使用し、自分の課題認識やその解決方法を考える生徒が増えた。</li> <li>▲対話する活動が少なく、集団として考える時間が確保できなかった。また、表現する場が与えられなかった。</li> </ul>	毎授業の中に短い時間でも課題について考える時間を増やしていく。また、考えが深まるための発問を設定していく。	3年			
主体的に学習に取り組む態度	1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生涯にわたって運動に親しむ態度を身に付けようとしている。</li> <li>○健康の保持増進を目指している。</li> <li>○体力の向上を目指している。</li> <li>○明るく豊かな生活を営む態度が身に付いている。</li> </ul>	9月の暑さや12月の寒さの中でも、最善を尽くす態度が身に付けられるよう、1単位時間のテンポを考慮した学習計画を立てる。 健康や安全配慮を継続できるように、手洗い指導や用具の管理指導を継続する。	1年			
	2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学んだことに対して、関心をもって積極的に取り組む生徒が多かった。</li> <li>▲教え合いの場では、運動が苦手な生徒ほど仲間にアドバイスをできない傾向にある。</li> </ul>	仲間と学び合うことで、自分のプレーに関しても気づくことがあり、上達をする糸口になることを伝えていく。	2年			
	3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動時間以外の準備・片付けを意欲的に行う生徒が多かった。</li> <li>▲意欲的に活動できる生徒とそうでない生徒の差ができてしまった。</li> </ul>	自分に合った課題に向き合うことができるように段階的なレベル設定をする。その中から自分で選択肢し、積極的に取り組める環境づくりをしていく。	3年			